福井工業大学 AI&IoTセンター



設立趣旨

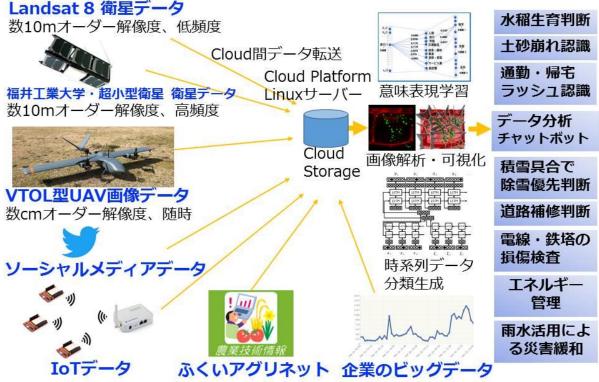
NASAの人工衛星Landsatなどからの衛星データを提供するクラウドサービスが進展している近年、福井工業大学では「ふくいPHOENIXハイパープロジェクト」での超小型衛星の打ち上げ計画以外にも、垂直離着陸(VTOL)・固定翼・自律飛行型ドローン(UAV)によるリモートセンシング実証実験を推進しています。

`この´「ふくいPHOENIXハイパープロ`ジェクト」 が対象とする衛星データ、ドローンによる空撮画像データに 加えて、IoTセンサー、ソーシャルメディアからセンシングしたデータ、県の所有するオープンデータ、企業 が所有するビッグデータなどを掛け合わせれば、AI解析により新たな価値を創出することが期待できす。

そこで、本学ではAIとIoTを活用した地域のサポート、人材の育成、産官学連携の活性化を目的として、2019年4月1日、AI&IoTセンターを設置いたしました。



衛星データとIoT・ソーシャルデータの 掛け合わせとAI解析による新たな価値創出



IR交流会、AI&IoTセンター見学会の開催

令和2年2月12日(水)本学FUTタワー15階多目的会議室に於いて「イノベーションリサーチ(IR)交流会」をふくいオープンイノベーション推進機構と本学の共催で開催、当日は学内外から合わせて73名の参加がありました。

このIR交流会は本学AI&IoTセンターが主に企画・運営等を担当し、昨年11月に開催された医療情報連合大会にて大会長をされた富山大学附属病院医療情報部教授中川肇氏による講演会やセンターの見学会を実施いたしました。

